

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

製品名	LIMUPIA 7200
会社名	株式会社アイフェス
住所	大阪府和泉市はつが野三丁目16番31号
電話番号	072-270-2001
緊急連絡電話番号	072-270-2001

2. 危険有害性の要約

GHS ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。容器を接地しアースをとること。 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 ミスト／蒸気の吸入を避けること。 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
保管	容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。
廃棄	内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

単一物質

化学名又は一般名	含有率(%)	化審法	安衛法	CAS No.
メチルパーフルオロイソブチルエーテル	100	(2)-3869	2-(12)-339	163702-06-5

4. 応急措置

吸入した場合	吸入後は新鮮な空気を吸うこと。大量に吸入した場合や状態が良くない場合は直ちに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水でよくすすぐこと。医師に相談すること。
眼に入った場合	瞼を持ち上げ流水で最低15分はすすぐこと。コンタクトレンズは外す。状態が良くない場合は眼科医の診察を受けること。
飲み込んだ場合	温水で口をすすぎ、直ちに医師に相談する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	11.を参照。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて適切な治療を行うこと。

5. 火災時の措置

消火剤	適切な消火剤を選択すること
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	急激な熱に接触すると熱分解が起こり、一酸化炭素、二酸化炭素、フッ化水素が形成されます。
特有の消火方法	容器を火元から移動させる。発火源を可能な限り取り除く。風上から消火する。
消火を行う者の保護	安全な場所まで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	静電防止服、ゴム製耐油手袋を着用すること。 十分に換気すること。 蒸気の吸い込み、蒸気との接触を避けること。 排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。
環境に対する注意事項	少量の場合：漏洩した液体は可能な限り、密閉容器に回収すること。土砂、活性炭などで吸収させ、安全な場所に移すこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	大量の場合：堤を作り、穴を掘って収容する。排水パイプをふさぎ、ベントナイト、パーミキュライト、無機吸収剤で覆い、蒸発を抑制する。専用の収容器に移し、回収する。承認された処理場に廃棄すること。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策
	安全取扱い注意事項
	衛生対策
保管	安全な保管条件 容器を密閉し、乾燥した換気の良い冷所に保管する。熱や発火源から遠ざける。 安全な容器包装材料 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度、許容濃度	
	管理濃度
	許容濃度
設備対策	作業中は十分に換気すること。普通換気/局所排気装置で有害物質濃度を制限値以下に抑える。 安全シャワーと洗浄設備を整えること。
保護具	呼吸用保護具 気化ガス/エアロゾル発生時に必要 次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。 手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。 目の保護具 NIOSH (US) またはEN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた目の保護具を使用する。保護眼鏡。 皮膚及び身体の保護具 毒の浸透を防ぐ適切な保護具を着用すること。 環境暴露の制御 物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态	
	形状
	液体
	色
	無色透明
	臭い
	微臭
	pH
	データなし
融点/凝固点	-138℃
沸点	76℃

引火点	引火点なし
発火点	データなし
爆発範囲	下限：210g・m ⁻³ 上限：1070g・m ⁻³
蒸気圧	14.50kPa (25℃)
密度	1.432g・mL ⁻¹ (25℃)
比重	データなし
溶解度	0
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	375℃
分解温度	データなし
臭いの閾値	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性	データなし
粘度	0.4853mm ² ・s ⁻¹
酸度	データなし
ODP	データなし
GWP	データなし
1 0. 安定性及び反応性	
反応性	データなし
化学的安定性	標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。
危険有害反応可能性	有害な重合反応は発生しない。
避けるべき条件	火花・火炎
混触危険物質	強酸、強酸化剤、アルカリ
危険有害な分解生成物	フッ化水素、ペルフルオロイソブチレン、毒性蒸気、微粒子
1 1. 有害性情報	
急性毒性	経皮 LD ₅₀ >2000～5000mg/kg 吸入 致死量なしLC ₅₀ (4h) >20477.7mg/m ³ 飲み込み LD ₅₀ >2000mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	ウサギでの皮膚刺激性試験では刺激なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギでの眼刺激性試験では刺激なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	データなし
誤えん有害性	データなし
1 2. 環境影響情報	
生態毒性	該当しない
残留性・分解性	分類されない
生態蓄積性	分類されない
土壤中の移動性	分類されない
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	下水道に流さないこと。内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。 燃焼生成物はフッ化水素を含む。ハロゲン化合物を処理できる設備を整えること。
1 4. 輸送上の注意	
国際規制	
海上規制情報	該当しない。

国内規制	国連番号	危険物には該当しない。
	航空規制情報	該当しない。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	陸上規制情報	消防法の規定に従う
	消防法	非危険物

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物	該当せず。
表示対象物	該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物	該当せず。
毒物	該当せず。
劇物	該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する

第一種特定化学物質	該当せず。
第二種特定化学物質	該当せず。
監視化学物質	該当せず。
優先評価化学物質	該当せず。
届出不要物質	該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

1 6. その他の情報

参考文献

- ・ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
- ・HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
- ・National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens IARC発がん性評価モノグラフ
- ・日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月
- ・日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
- ・JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示 及び安全データシート(SDS)

安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。混合物である製品の危険・有害性情報は、個々の原材料の危険・有害性情報から推定したものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようにお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。